

JFEグループのバリューチェーン

JFEグループは、上流から下流まで世界中にバリューチェーンが広がるグループの事業において、当社グループが解決に向けて貢献すべき社会課題に対し、事業運営において対処すべきリスクと機会を捉え、これらの課題への取り組みを進めていきます。私たちは今後もバリューチェーンの隅々にわたって対応を充実させていくことで、グループ全体の持続可能性を追求していきます。

鉄鋼事業／商社事業

バリューチェーン全体像



■ 調達

鉄鋼製品の生産に必要な原料である鉄鉱石や石炭を製鉄所に安定供給するため、オーストラリア、南米など世界各地から購入し、専用の船で輸送しています。また製鉄プラント等の設備や資材に関してもグローバルな調達を進めています。さらに、使用後に発生する鉄スクラップの原材料としてのリサイクル利用も推進しています。JFEスチールは、持続可能な社会の実現に向けた活動をサプライチェーン全体で推進していくことを目的に、「JFEグループ企業行動指針」および「JFEグループ人権基本方針」に沿って、「JFEスチール調達ガイドライン」を制定しました。これをお取引先様と共有し、サステナビリティに関する取り組みをサプライチェーン全体で推進していきます。

■ 生産・製造・出荷

自動車、インフラ、家電など人々の暮らしに欠かせないさまざまな領域で使用される鉄鋼製品を、世界トップクラスの技術力をもって、高品質かつ効率的に生産し、安定的に供給しています。

また、製鉄工程において発生する副産物の鉄鋼スラグはセメント材料や土木材料などへ活用することで、資源循環の推進に取り組んでいます。さらに、生物付着基盤や海域環境改善材として有効に機能する「マリンストーン®」などの環境修復材への活用も推進しています。

■ 販売・使用

自社での鉄鋼生産プロセスにおいて地球環境に配慮するだけでなく、社会全体のGHG排出量削減に貢献するエコプロダクトや、ソリューション技術の開発など、研究開発や製造技術向上を通じて各産業のさまざまなニーズに応え、最先端のモノづくりを支えています。

■ 鉄スクラップ回収

お客様で加工、使用後に発生する鉄スクラップや市中スクラップを回収し、製鉄原料として使用しています。

バリューチェーン上のリスク・機会

バリューチェーン上の課題	調達		生産・製造・出荷	販売・使用	鉄スクラップ回収
	原材料 鉄鉱石／石炭／鉄スクラップ	資機材			

気候変動問題への取り組み

JFEグループにとって、気候変動問題は事業継続の観点から極めて重要な課題であり、2050年カーボンニュートラルの実現を目指して取り組みを推進しています。経営上の重要課題に、気候変動への対応に関する項目を特定し、気候変動問題の解決に積極的に取り組んでいます。

リスク - 原料調達の不安定化 - 製造拠点の台風・大雨・渇水被害による生産量の減少 - 大規模な脱炭素を実現する新技術導入等のための投資負担 - カーボンプライシングの導入 - 冷鉄源(スクラップ・還元鉄)争奪/価格の高騰 - 高炉から電気炉へのプロセス転換による電力需要増 - EV化による内燃機関減少、マルチマテリアル化に伴う他素材への転換による鋼材販売量の減少	●	●	●	●	●
機会 - 脱炭素を実現する環境価値が高い鋼材の需要拡大 - EV車の生産増加によるEV向け商品需要の増加	●	●	●	●	●

主な取り組み

＜気候変動問題への取り組み＞(P.49)

関連ページ

＜政策エンゲージメント＞(P.89) ＜リスクと機会の特定・評価(TCFD推奨シナリオ分析)＞(P.113)
＜サプライチェーンマネジメント＞(P.233) ＜環境データ＞(P.273)

循環型社会実現への貢献

循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行は、循環型社会の実現に不可欠であるという認識の下、JFEグループの枠組みを超えてバリューチェーンとの連携により推進していきます。副産物・廃棄物の資源への転換、資源効率の高いエコプロダクトやソリューション技術の開発、再生資源の利用・販売の拡大に取り組んでいます。

リスク - 資源の枯渇 - 排出した廃棄物の処分場不足 - 老廃スクラップの価格高騰、入手困難化、品位低下	●	●	●		●
--	---	---	---	--	---

バリューチェーン上の課題	調達		生産・製造・出荷	販売・使用	鉄スクラップ回収
	原材料 鉄鉱石／石炭／鉄スクラップ	資機材			
機会 ・鉄鋼製品のリサイクル性への再注目 ・エコプロダクト・エコソリューションの需要拡大 ・鉄鋼スラグ製品や鉄スクラップ利用・販売機会の拡大 ・再生資源の需要拡大	●		●	●	●

主な取り組み
➤循環経済への移行の取り組み (P.126)

関連ページ
➤環境データ (P.273)

強靱な収益力の獲得

2035年の目指す姿「JFEビジョン2035」の達成に向けて、成長戦略に基づいたスリムで強靱な国内体制構築と海外成長地域でのインサイダー型事業拡大による成長を目指します。

リスク ・国内需要の減少 ・国内労働人口減少による人材確保の困難化 ・脱炭素化の停滞 ・海外などの廉価な製品の市場拡大 ・各国の関税政策強化、保護主義化 ・海外競合他社の技術力向上			●	●	●
機会 ・CO ₂ 削減に寄与するエコプロダクト需要（電磁鋼板・ハイテン等）増加 ・GXスチール、新エネルギー用途鋼材の需要増加 ・サーキュラーエコノミーの進展 ・海外成長市場での需要獲得			●	●	●

主な取り組み
➤気候変動問題への取り組み (P.49) ➤循環経済への移行の取り組み (P.126) ➤人的資本 (P.186)

関連ページ
➤JFEグループ統合報告書 (https://www.jfe-holdings.co.jp/investor/library/group-report/)
➤JFEグループ長期ビジョン「JFEビジョン2035」・第8次中期経営計画(25～27年度)
(https://www.jfe-holdings.co.jp/investor/management/plan/)
➤DX REPORT (https://www.jfe-holdings.co.jp/investor/library/dxreport/index.html)

バリューチェーン上の課題	調達		生産・製造・出荷	販売・使用	鉄スクラップ回収
	原材料 鉄鉱石／石炭／鉄スクラップ	資機材			

社員の労働安全衛生の確保

従業員の安全と健康の確保は製造業の基本要件であり、企業存続の基盤でもあります。JFEグループは、「安全はすべてに優先する」の基本姿勢のもと、グループ会社・協力会社と一体になって安全健康活動を進め、安全な職場環境の確立と全員が心身ともに長く健康で働いている状態の実現を目指します。

リスク					
・ 事故や労働災害の発生			●	●	
・ 人材の流出					
機会					
・ 人材の安定確保・労働生産性の向上			●	●	

主な取り組み

＜労働安全衛生（P.202）

関連ページ

＜社会データ（P.286）

人的資本経営の推進

JFEグループでは変革の時代において「人材こそが企業成長の原動力」と考えています。企業の持続的成長と、社員の成長を連動させる施策が必要であるとの認識から長期的な目線での人材戦略を策定しました。人材ポートフォリオ構築のための人材確保策、人材の能力最大発揮を狙いとしたDEI推進、働きがいの向上に取り組んでいきます。

リスク					
・ 労働力の不足	●	●	●	●	●
・ 人材の流出					
・ 技術伝承の断絶					
機会					
・ 企業の成長戦略を推進する多様な人材の獲得			●	●	
・ 従業員エンゲージメント向上					
・ 労働生産性の向上					

主な取り組み

＜人的資本（P.186）＞DEIの推進（P.190）＜人材の確保・育成の推進（P.188）＞働きがいの向上（P.195）

関連ページ

＜サプライチェーンマネジメント（P.233）＞社会データ（P.286）

バリューチェーン上の課題	調達		生産・製造・出荷	販売・使用	鉄スクラップ回収
	原材料 鉄鉱石／石炭／鉄スクラップ	資機材			

経営の根幹を揺るがすリスクの低減

JFEグループの持続的な成長と企業価値の向上に向けてグループ全体のリスクと機会を的確に認識し、確実な対応を図るため、管理体制の整備・活動を推進します。

リスク - 人権問題や法令違反等の発生 - サイバー攻撃やシステムの不正利用による情報漏洩やシステム障害 - 生産・品質問題と顧客信用低下 - 地域コミュニティとの関係悪化 - 環境規制の厳格化への対応不足 - 取水元の渇水、排水先の汚染 - 資金調達の困難化	●	●	●	●	●
機会 - サステナブル調達の拡大と安定調達体制の構築 - 安定した生産・品質による競争優位性の確保 - 資金調達の多様化	●	●	●	●	●

主な取り組み

＜生物多様性の保全・自然再興（P.154）＞＜コンプライアンス（P.263）＞＜リスクマネジメント（P.269）＞

関連ページ

＜環境データ（P.273）＞＜サプライチェーンマネジメント（P.233）＞＜ガバナンスデータ（P.292）＞
＜DX REPORT（<https://www.jfe-holdings.co.jp/investor/library/dxreport/index.html>）＞

エンジニアリング事業

バリューチェーン全体像



■ エンジニアリング(くらしの礎を創る)

エネルギー・環境や橋梁などさまざまな分野で、設計から引き渡しまで、お客様のニーズに即した高機能・高品質な施設を数多く建設してきました。「造船事業をベースとした加工・組み立て技術」と「鉄鋼事業をベースとした素材・燃焼技術」を融合・進化させた社会を支える技術を数多く有しており、次世代エネルギーの創出や環境問題の解決などに貢献しています。また、これらの技術に基づいた新たなビジネスモデル・新たな技術の開発に総力を挙げて取り組んでいます。国内最大級の鋼構造物製作工場をはじめとする生産拠点やアジア諸国を中心とした海外拠点を含むグローバルエンジニアリング体制も構築しており、高品質・低コストでの製品・サービス供給を可能としています。

■ 事業運営・操業支援(くらしの礎を担う)

環境・上下水などのプラントを中心として、長きにわたりオペレーション・メンテナンスのノウハウを培い、公共サービス分野で数多くの官民連携事業を手がけています。また、自らがプラントを建設し、リサイクル事業や再生可能エネルギー発電事業を行い、循環型社会、持続可能な社会の構築に取り組んでおり、今後もさらに拡大していきます。

■ ライフサイクル管理(くらしの礎をつなぐ)

エネルギーや環境プラント、橋梁、沿岸構造物などのインフラ施設の建設、運営、メンテナンスを継続し、安心、安全な社会を次世代につなげていきます。

バリューチェーン上のリスク・機会

バリューチェーン上の課題	企画・開発・設計	調達	製作・建設	メンテナンス・運営
--------------	----------	----	-------	-----------

気候変動問題への取り組み

JFEグループは、エンジニアリング事業において再生可能エネルギー利用技術や省エネルギー製品などの環境配慮型商品・技術を提供することを通じて社会全体のGHG削減に貢献することを目指しています。経営上の重要課題に、気候変動への対応に関する項目を特定し、気候変動問題の解決に積極的に取り組んでいます。

リスク 製作拠点・建設現場の台風・大雨・渇水被害の発生	●	●	●	●
機会 - インフラ強化・災害対策要求の高まり - 脱炭素・ソリューションビジネスの商機の拡大	●	●	●	●

主な取り組み

＜気候変動問題への取り組み（P.49）

関連ページ

＜政策エンゲージメント（P.89）＞リスクと機会の特定・評価（TCFD推奨シナリオ分析）（P.113）
＜サプライチェーンマネジメント（P.233）＞環境データ（P.273）

循環型社会実現への貢献

循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行は、循環型社会の実現に不可欠であるという認識の下、JFEグループの枠組みを超えてバリューチェーンとの連携により推進していきます。副産物・廃棄物の資源への転換、資源効率の高いエコプロダクトやソリューション技術の開発、再生資源の利用・販売の拡大に取り組んでいます。

リスク - 排出した廃棄物の処分場不足 - 資源の枯渇		●	●	●
機会 - Waste to Resource（プラスチックリサイクル、食品廃棄物発電）の需要拡大 - インフラの強靱化・高寿命化の需要拡大 - 運転効率の向上、環境負荷低減に対する需要拡大	●	●	●	●

主な取り組み

＜循環経済への移行の取り組み（P.126）

関連ページ

＜環境データ（P.273）

バリューチェーン上の課題	企画・開発・設計	調達	製作・建設	メンテナンス・運営
--------------	----------	----	-------	-----------

強靱な収益力の獲得

2035年の目指す姿「JFEビジョン2035」の達成に向けて、多様な事業によるポートフォリオを強みとして収益基盤を強化しつつ、「循環経済への移行」を通じて事業を拡大していきます。

リスク ・ 内需の減少 ・ 国内労働人口減少による人材確保の困難化 ・ 脱炭素化の停滞	●	●	●	●
機会 ・ CNプラント需要増、再生可能エネルギーのニーズ拡大 ・ 海外成長市場での需要獲得	●	●	●	●

主な取り組み

[気候変動問題への取り組み](#) (P.49)
 [循環経済への移行の取り組み](#) (P.126)
 [人的資本](#) (P.186)

関連ページ

[JFEグループ統合報告書](https://www.jfe-holdings.co.jp/investor/library/group-report/) (https://www.jfe-holdings.co.jp/investor/library/group-report/)
[JFEグループ長期ビジョン「JFEビジョン2035」・第8次中期経営計画\(25～27年度\)](https://www.jfe-holdings.co.jp/investor/management/plan/) (https://www.jfe-holdings.co.jp/investor/management/plan/)
[DX REPORT](https://www.jfe-holdings.co.jp/investor/library/dxreport/index.html) (https://www.jfe-holdings.co.jp/investor/library/dxreport/index.html)

社員の労働安全衛生の確保

従業員の安全と健康の確保は製造業の基本要件であり、企業存続の基盤でもあります。JFEグループは、「安全はすべてに優先する」の基本姿勢のもと、グループ会社・協力会社と一体になって安全健康活動を進め、安全な職場環境の確立と全員が心身ともに長く健康で働いている状態の実現を目指します。

リスク ・ 事故や労働災害の発生 ・ 人材の流出	●		●	●
機会 ・ 人材の安定確保 ・ 労働生産性の向上	●		●	●

主な取り組み

[労働安全衛生](#) (P.202)

関連ページ

[社会データ](#) (P.286)

バリューチェーン上の課題	企画・開発・設計	調達	製作・建設	メンテナンス・運営
--------------	----------	----	-------	-----------

人的資本経営の推進

JFEグループでは変革の時代において「人材こそが企業成長の原動力」と考えています。企業の持続的成長と、社員の成長を連動させる施策が必要であるとの認識から長期的な目線での人材戦略を策定しました。人材ポートフォリオ構築のための人材確保策、人材の能力最大発揮を狙いとしたDEI推進、働きがいの向上に取り組んでいきます。

リスク - 労働力の不足 - 人材の流出 - 技術伝承の断絶	●	●	●	●
機会 - 企業の成長戦略を推進する多様な人材の獲得 - 従業員エンゲージメント向上 - 労働生産性の向上	●	●	●	●

主な取り組み

＜人的資本 (P.186)＞ ＜DEIの推進 (P.190)＞ ＜人材の確保・育成の推進 (P.188)＞ ＜働きがいの向上 (P.195)＞

関連ページ

＜サプライチェーンマネジメント (P.233)＞ ＜社会データ (P.286)＞

経営の根幹を揺るがすリスクの低減

JFEグループの持続的な成長と企業価値の向上に向けてグループ全体のリスクを的確に認識し、確実な対応を図るため、リスク管理体制の整備・活動を推進します。

リスク - 人権問題や法令違反等の発生 - サイバー攻撃やシステムの不正利用による情報漏洩やシステム障害 - 生産・品質問題と顧客信用低下 - 地域コミュニティとの関係悪化 - 環境規制の厳格化への対応不足 - 排水先の汚染 - 資金調達の困難化	●	●	●	●
機会 - サステナブル調達の拡大と安定調達体制の構築 - 安定した生産・品質による競争優位性の確保 - 資金調達の多様化	●	●	●	●

主な取り組み

＜生物多様性の保全・自然再興 (P.154)＞ ＜コンプライアンス (P.263)＞ ＜リスクマネジメント (P.269)＞

関連ページ

＜環境データ (P.273)＞ ＜サプライチェーンマネジメント (P.233)＞ ＜ガバナンスデータ (P.292)＞
＜DX REPORT (https://www.jfe-holdings.co.jp/investor/library/dxreport/index.html)＞